

〒110-0012 東京都台東区竜泉 1-20-19
発行所 真宗 佛光寺派 西徳寺
TEL 03-3875-3351 FAX 03-3875-6796
http://saitokuji.tobihiro.jp/
発行人 脇阪 義幸
印刷 日生印刷(株) 03-6863-3263



暮らしの中の仏教

墓石への法名刻みはお問い合わせください。



今月の予定

3月

- 4日(水) 午前10時 仏具磨き
- 7日(土) 午後1時半 定例間法会
- 7日(土) 午後3時15分 混声合唱団「エコー」練習
- 8日(日) 午後2時 城北ブロック会間法会
場所:王子北とびあ
- 8日(日) 午後2時 燈虹塾セミナー
場所:西徳寺・梅檀の間
- 10日(火)
- 11日(水) 午後1時半 婦人会間法会
- 14日(土) 午後3時15分 混声合唱団「エコー」練習
- 17日(火)~23日(月) 春季彼岸会
- 22日(日) 午前10時~ 春季永代経法要
聖徳太子奉讃会
本山差向布教 (詳細は4ページへ)

27日(金) 午後1時半 『歎異抄』に聞く
講師:宗 正元師

28日(土) 午後5時45分 同行会修習式

4月

11日(土) 午後6時 同行会総会
15日(水) 午前11時 婦人会総会

※予定は変更する場合があります。
詳しくは寺務所までお問い合わせください。

3月の山門の言葉

私の世界とみんなの世界 出遇いと迷いが わたしの人生

えこおファイル在庫あります。

娘がスマホで動画を見ている。私もスマホで本を読む。妻はスマホで調べながら料理をする。我が家の日常である。

スマートフォンに代表されるように、現代は個が尊重される時代である。居酒屋に行っても一人ひとりが違う酒を飲み、酌み交わすということも少ない。一昔前まで当たり前であった、誰かと共有するという習慣が、今は煩わしいものとなっている。

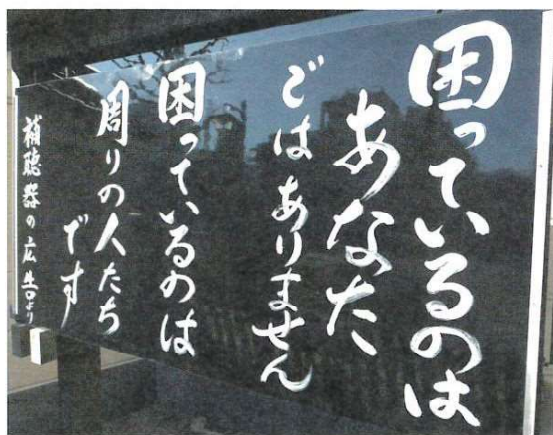
しかし神社にお参りすると、「学業成就」「家内安全」、そして「世界平和」など、個人の願いと共有する願いが混同している。個別の世界が尊重されていながらも、私を超えた世界を求めめるのである。

「私の世界」を求めれば、孤独を感じ、「みんなの世界」を欲しがる。「みんなの世界」を求めれば、関わりの中で煩わしさを感じ、「私の世界」を欲しがる。無いものねだりの繰り返し、人間の性なのではないだろうか。「私の世界」と、様々な関わりを持つ「みんなの世界」、この2つの世界を使い分けつつも、実は迷っているのである。

親鸞聖人は迷いの中を生きるわたしたちのことを、「流転の群生」と教えられる。親鸞聖人が生きられた鎌倉時代から変わらない、わたしたちの迷いということとを、念仏に証してきたのだ。

この迷いがなくなるのではない、迷うわたしを生きるのだ。共に迷うこの人生の、真実を教えてください。それが仏様である。その仏様との出遇いに本当のわたしを確かめていくのだ。

(仲井 真裕 記)



二月に掲げた山門の言葉「困っているのはあなたではありません。困っているのは周りの人たちです。」を皆さんはどう聞いたのか、お尋ねしました。

私はこう聞いた!!



問題が解決して初めて、冷静に何が悪かったかを見返せることがしばしばあります。だからこそ、この言葉は「困っている」ときの自分に聞かせたいです。
(20代 男子学生)

例えば自分が困っているときに(耳が聞こえづらいとして)、他人に理解の溝を乗り越えてもらえることは決してありません。

悲しくも自分が優位に立ってしまいます。天地を揺るがす悲しみは「耳が聞こえない」という状況の中で抽象化されて、思いやりも中傷も何だか一緒に感じられてしまいます。人が死ななくてもそれが最大の悲しみに違いありません。

その局面で広告にのせられて補聴器を買うことが善悪、いづれかはわかりませんが、一瞬悲しみに耐えて「これからは君の声がもっと聞こえるよ」と言ってみると、たぶん周りの人は想像を遙かに超えて笑顔になってくれるはずで、自分はそうしてしか救われないんです。
(中学生 男子)



山崎&蓮井 が 行ってみた

今回は元浅草で母親の代から続いている判子屋さんの秀美堂印房さん取材してきました。この道30年のご主人、持木秀彦さんは現在では数が少なくなった、全工程を手作業で仕上げる一級技能士の資格を持っておられます。「好きこそもの上手なれ」という言葉があるように、お母さんから継いだ仕事ではあるけれども、この仕事が好きで判子作りに誇りを持っておられる姿がとても印象的でした。



2代目主人で一級技能士の持木さん



①印稿 紙に下書きします。ちなみに字体は小篆体です。



②字入れ 印稿を見ながら判子に字を書きます。もちろん逆さ字です。手書きなのは驚きました。



③荒彫り 黒い線を消さないように、朱の部分掘っていきます。とても繊細な作業です。



④仕上げ彫り 荒彫りしたものを仕上げていきます。もちろん彫る手も判子を持つ手も震えていません!!



だいたい5時間くらいで1本完成するそうです。想像以上に早くてビックリしました。ちなみに写真は「西徳寺印」です。



西徳寺印



文字を調べるための篆刻字林は手放せません!



道具は基本的に一生物だそうです。自分で刃を研ぎメンテナンスをしておられます。



篆刻台 判子を固定するための台です。今はネジで固定するものが主流ですが、約30年使っているこちらがしっくりくるそうです。

政府が推進し、時代の流れによってデジタル化の一途を歩む現代、判子の需要が減ってきていることに寂しそうな表情の持木さん。便利になることが私たちにとっての本当の救いなのかどうか、あらためて考えさせられる取材となりました。

秀美堂印房

〒111-0041 東京都台東区元浅草2-3-2
TEL:03-3841-0730 FAX:03-3842-3819



※この度秀美堂さんとのご縁を結ぶことができましたのは、同じく判子を扱っておられ、西徳寺のご門徒である木本泰夫様のおかげです。この誌面をお借りしてお礼申し上げます。ありがとうございました。

(株)木本印材店

〒111-0052
東京都台東区柳橋1-11-6
TEL:03-3851-3128

春季永代経法要のご案内

しゅんきえいたいきょうほうよう しょうとくたいしほうさんえ ほんざんざしむけふきょう
春季永代経法要・聖徳太子奉讃会・本山差向布教

日時：令和2年3月22日(日)

午前10時	お日中法要 法話
午前11時半	混声合唱団「エコー」演奏
正午	おとき(昼食)
午後1時半	お逮夜法要 法話



布教使紹介

この度の春季永代経法要は、兵庫県西宮市の常福寺住職であります、
日下貴行布教使をお迎えいたします。

日下布教使は私と大橋と共に、本山中で研修を受けた仲間です(聞法運動推進員養成研修会：燈炬会)。また、本山発行の「ともしび」編集にも携わっており、今後の佛光寺派の要となろう方です。

若々しい感覚のお話が伺えると期待しております。

是非、皆様お誘い合わせの上、ご来寺ください。(山崎 哲 記)



日下貴行布教使

※おとき(昼食)の申込方法

同封のハガキにて**3月15日(日)まで**にお申し込みください。
なお恐縮ではございますが、法要執行のためご懇志をお納めいただきたく存じます。
ご理解ご協力のほど宜しくお願い申し上げます。

カレンダーのことは

令和2年3月号

アミダさまの胸の内

むね うち

わたくし
私のことではいはいでした

親が、我が子たちに平等に愛情を注ぐは当たり前だが、ひとたび一人に何かあればその子に手を尽くす。

兄弟一親の手を焼かせた私。どれ程心配させたか分からない。「あいつだけが心配だ」、遺言ともつかない母に遺していた亡き父の言葉。

人一倍煩わせていることを痛感する時、「親鸞一人がためなりけり」(『歎異抄』後序)という言葉が響く。



(山崎 哲)

同行会新年会

去る1月25日(土)同行会新年会を開催しました。

本堂にてお勤めの後、安藤会長と脇阪住職よりご挨拶を頂き、その後場所を移して懇親会を行いました。乾杯からお開きになるまで、大変賑やかな時間を過ごせました。今年もよろしくお願いいたします。

(同行会担当 大橋)



安藤会長



評議員会新年会

令和2年1月19日(日)西徳寺本堂にて、評議員会新年会を開催しました。

竹内会長、脇阪住職、大谷顧問、川村責任役員より新年のご挨拶を頂戴した中で、「世の中の移り変わりがある中で、これからの西徳寺の在り方を検討すべき」とのご意見を頂きました。

評議員会の皆様を中心とし、各会の在り方や、評議員会の活動も併せて検討していきたいと思っておりますので、皆様のお力添えをよろしくお願いいたします。

(評議員会担当 大橋)



竹内会長



川村責任役員総代

えこお志お礼

文京区 官林 以智子 様
 鎌ヶ谷市 鈴木 秀夫 様
 荒川区 内免 隆一 様
 草加市 代田 勝子 様

ご浄財を頂戴いたしまして
 ありがとうございます。
 ご芳名の掲載をもって
 お礼とさせていただきます。



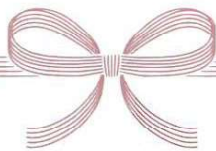
墓地管理料および維持会費納入のお礼とお願い

平素より門信徒の皆様には、当寺の護持に並々ならぬご尽力を賜りまして、誠にありがとうございます。皆様の物心両面でのお支えのお陰をもちまして、墓地ならびに諸伽藍の維持をすることができておりますこと、重ねて感謝申し上げます。

引き続きましてのご支援、ご協力を賜りますようよろしくお願いいたします。

墓地年間管理料：15000円(墓地所有者のみ)
 年間維持会費：一口5000円～(全門信徒対象)

※同封の振込用紙もご使用いただけます。



Relation ～縁～

Relation：関係、関連、結びつき

Relation(ご縁)をテーマに1年間「えこお」の編集をさせていただきました。締切に追われ納得のいく編集ができなかったこともありましたが、私が認知している以上に、さまざまなご縁を賜って今ここに生かされているということ、編集を通して、あらためて感じさせていただくことができました。編集に際しまして、ご協力いただきました皆様には、この誌面を借りまして、深く感謝申し上げます。これからも「えこお」をよろしくお願いいたします。(蓮井 邦宗 記)

新たな試みとしての「行ってみた」は地域、地元を焦点に当てた。人や歴史に触れる機会はとても楽しく有意義であった。地元への愛情が深まった。改めて人と人の交差点になるお寺に行きたい…そんなことを感じている。

取材にご協力頂いた方々には、重ねて御礼を申し上げます。ありがとうございました。次号からの「えこお」も是非お楽しみください。

(山崎 哲 記)

4月から「えこお」編集を担当させていただきます。仲井真裕です。平成30年度から編集担当が変わっていますが、私が最後に担当することとなりました。

今月の山門の言葉に記しました「私の世界とみんなの世界」、一人ひとりの考え・感動を、皆様と共によこべるような「えこお」にしていきたいと思っております。

至らないこともあるかと思いますが、1年間微力ながら尽くしてまいります。よろしくお願いいたします。(仲井 真裕 記)

えこおに対するご意見・ご感想、お待ちしております。

✉ saitokuji@ce.wakwak.com



ホームページ

ゆうちょ銀行お振り込み口座
 00120-0-80670 名義 西徳寺



Facebook